

南国市保健事業実施計画(第1期データヘルス計画)(平成28年度～平成29年度)の達成状況

1. データヘルス計画の目的

本計画策定の目的は、被保険者の生活習慣病の発症及び重症化予防による健康寿命の延伸と医療費の適正化を目指すものとします。

2. 目標

医療情報を分析した結果、循環器系の疾患が医療費の多くを占めています。将来的に医療費が増加することが予想されるものに「高血圧性疾患」があり、本市では「高血圧症の予防」が重要となります。そこで、特定健診の受診率を向上させるとともに、健診結果に応じた保健指導を行い、生活習慣病の重症化予防対策に取り組むことにより、高血圧症の予防を重点項目として、あわせて脂質異常症、糖尿病を減らしていくことを目標とします。

3. 保健事業の目的と目標

(1) 特定健診受診勧奨事業

【目的】特定健診受診率向上により、生活習慣病の発症と重症化予防につなげる。

【目標】アウトプット：受診勧奨対象者の特定健診受診率 30%

アウトカム：特定健診受診率の向上

(2) 特定保健指導利用勧奨事業

【目的】特定保健指導利用率向上により、メタボリックシンドロームに該当するリスクの軽減につなげる。

【目標】アウトプット：利用勧奨対象者の特定保健指導利用率 20%

アウトカム：特定保健指導実施率の向上

(3) 生活習慣病重症化予防

【目的】高血圧症などの健康リスクが高い対象者の生活習慣の改善、適正な医療機関への受診を勧奨することで重症化予防につなげる。

【目標】アウトプット：指導対象者の指導実施率 70%

アウトカム：精密検査受診率の増加、高額医療費の要因となる疾病の発生率の減少

(4) 受診行動適正化指導

【目的】適正な医療機関受診の指導により重複受診者、頻回受診者の減少につなげる。

【目標】アウトプット：指導対象者への指導実施率 60%

アウトカム：重複受診者、頻回受診者減少

(5) ジェネリック医薬品使用促進

【目的】ジェネリック医薬品の普及率向上により、医療費の適正化につなげる。

【目標】アウトプット：対象者への通知率 100%

アウトカム：ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 60%

目標	平成28年実績	備考欄	平成29年見込	備考欄
3(1) 特定健診受診勧奨事業 アウトプット 受診率30%	21.6%	H28未受診者対策(JMC) 訪問 509人→26人が受診 電話 1,463人→400人が受診	16.6%	H29未受診者対策(JMC) 訪問 539人→88人が受診 電話 1,472人→246人が受診
アウトカム 受診率向上(法定報告)	33.3%	H27 33.5% H28 33.3%	34.3%(見込)	H28 33.3% H29 34.3%(見込)
(2) 特定保健指導利用勧奨事業 アウトプット 利用率20%	27.7%	H28 新規対象者83人 のうち、23人が利用	25.2%	H29 新規対象者119人 のうち、30人が利用
アウトカム 実施率の向上(法定報告)	13.5%	H27 12.1% H28 13.5%	15.7%(見込)	H28 13.5% H29 15.7%(見込)
(3) 生活習慣病重症化予防 アウトプット 指導実施率70%	100%	対象者全員に保健師による指導を行った 未治療 17人 治療中断 12人	100%	対象者全員に保健師による指導を行った 未治療 21人 治療中断 26人
アウトカム 精密検査受診率の増加	53.7%	精密依頼書95件 受診者51人	51.5%	精密依頼書68件 受診者35人
アウトカム 発生率の減少	不明	評価指標が未設定	不明	評価指標が未設定
(4) 受診行動適正化指導 アウトプット 指導実施率60%	100%	対象者全員に保健師による指導を行った	100%	対象者全員に保健師による指導を行った
アウトカム 対象者の減少	24人	H28対象者 24人	32人	H29対象者 32人
(5) ジェネリック医薬品使用促進 アウトプット 通知率 100%	100%	全年齢の対象者に対し、 通知を行っている	100%	全年齢の対象者に対し、 通知を行っている
アウトカム 普及率(数量ベース) 60%	63.4%	H29.3月 月次報告	65.5%(見込)	H30.3月 月次報告

※ アウトプット …事業の実施量のこと。(例：指導率、実施率、通知率など)

※ アウトカム …事業に対する成果のこと。(例：改善率、支援対象者数の減少率など)